

9月 月例報告書

1. インドの友達

先月の報告書を提出した後、書き忘れていたこと沢山思い出しました。このまま書かずに終わるのは勿体無いと思い、9月の報告書ですが書きたいと思います。

アメリカでの留学生生活に何故インドが出てくるのだろうと不思議に思った人もいます。ですが、フィンドレーでの留学生生活においてインドは切っても切り離せない関係にあります。フィンドレー大学には本当に多くのインドから来た学生が在籍しています。何度かインドに来てしまったのではないかと勘違いを起こすほどです。インドの国民性なのか、互いに留学生であるという親近感からか、彼らは私たちにとても良くしてくれます。多くのインド人が集まってヒンドゥー教の神様であるガネーシャの誕生を祝う行事に私たちを招いてくれるほどです。彼らは本当に優しく、とても感謝しています。ですが、私は彼らへの感謝と共に大きな壁に直面しました。それは彼らの使う英語がほとんど理解できないということです。フィンドレー大学に到着した当初、現地の学生はまだ学期が始まっていないためほとんど大学には居らず、ほぼ留学生のみがキャンパス内で生活している状態となります。先月の報告書に記述した通り、到着後約1週間は他の留学生とのオリエンテーション week となります。そこで、私は彼らとコミュニケーションを取ることの難しさを知りました。何故なら、彼らの英語はとても訛っているからです。インド人の友人と話していて、ヒンドゥー語で話しかけられていると思ったら英語だったなんてことがざらにあります。

日本での英語教育において、イギリス英語やカナダ英語を聞くことはあっても、インドや英語が公用語ではない国の英語を聞き取ることはほとんどありません。もちろん日本人である私も日本語訛りがあると思います。ネイティブの人々はインドに限らず、私のような完璧でないノンネイティブスピーカーの英語を聞き取り、十分に理解してくれます。本当の英語力というのは、流暢な英語を話すことができる、アメリカ人の英語を聞き取り流暢な会話することができるなど、対ネイティブスピーカーに向けたものだけでなく、多様な国の人が話す英語を理解することができることだと思います。9月に入り、先月よりも彼らやネイティブの友人たちの言っていることを理解できていると実感する場面が増え、自身の英語力の伸びを実感しています。引き続き、多くの人達との会話を通して成長していきたいです。

2. Bowling Green

IELP の生徒に向けて行われた、遠足に行ってきました。オハイオ州の都市である Bowling Green に位置する Wintergarden Park で散策を行ったり、現地の公園や Cambridge high school でアメリカンフットボールの試合を見ました。マーチングバンドの演奏やチアリーディングの応援も見るができます。また軽食が売られていたり、帽子や洋服など学校のグッズの販売が行われていることや、選手の家族が学校のカラーのものを身につけ、応援しているところに日本の部活動との違いを感じました。



現地に住んでいる人からレクチャーを受けながら、Bowling Green に生息する動物や植物と触れ合うことができます。



入場するときは Cambridge high school の動物である Bobcat の肉球を模したスタンプを掌に押ししてもらいました。入場前に顔にラメをつけてもらい、ピザを片手に観戦！



3. Cedar Point

Cedar Point とはオハイオ州に位置し、アメリカで 2 番目に古いと言われているアミューズメントパークです。日本のテレビ番組でも取り上げられたことがあるほど、絶叫系のアトラクションが多いです。勇ましい友人達は沢山のジェットコースターやフリーフォールに乗っており、その姿に感化され、絶叫系があまり得意ではない私ですが、友人たちのおかげで沢山チャレンジし、楽しむことができました。Cedar Point はアメリカでも有名な遊園地で、オハイオを代表する場所の 1 つでもあるので、フィンドレー大学への留学を考えている方は絶叫が苦手だとしても、ぜひ行ってみると良いと思います。



ゴンドラからみる景色と夜のメリーゴーランドが本当に綺麗！9月の初めでしたが、もうハロウィンの雰囲気でする所にジャックオーランタンが置いてあります。

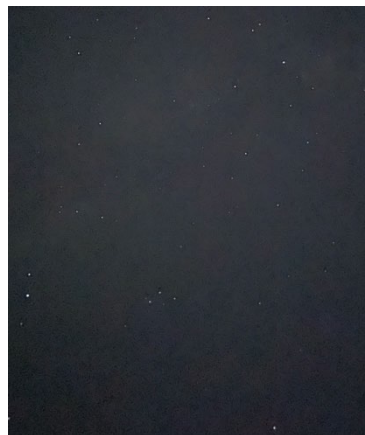
4. Leadership Retreat

Leadership Retreat とはリーダーシップを身につけることを目的とした研修です。参加費が無料にも関わらず、3日間、食事・宿付きでニューベリーまでいくことができるので、遠足感覚で申し込みました。ですが、行きのバスでのアクティビティや一日で 4 つのレクチ

ヤーを受けるなど体力の面でとても大変でもありました。行きのバスでは、完全に片道3時間しっかり寝るつもりだったのでコンタクトを外し、ほぼメイクも落とした状態でバスに乗り込みました。しかし、目を瞑っていると車内で参加者たちの大移動が始まり、自己紹介アクティビティが始まりました。目を開け、隣に目を向けると、ぼやけた視界からさっきまで隣にいた友人ではなく初めて会うバングラディッシュ人の微笑みが見えました。なんといっても3時間移動中のバスの車内で約10分おきに代わる代わる初めて会う人と自己紹介を行ったので私はバス酔いと戦うことに必死でした。バス酔いの辛さとともに、ぴんぴんしている他の参加者達を見てアメリカ、インド、バングラディッシュ、ネパール、ガーナ、ベトナム出身の友人たちのフィジカルの強さを実感しました。大変なこともありましたが、もちろんそれを上回るほどの数多くの貴重な経験をすることができました。まず、それらのアクティビティや自由時間を通して多くの友人を作ることができました。プールに入ったり、湖を見に行ったり、焚き火をしたり、夜は星を見て深夜までこの研修で出会った多国籍な友人たちと人狼ゲームをしました。彼らの多くは人生で初めて人狼ゲームをしたようなのですが、大ハマりしたらしく、研修後2週間ほどは学校で会っても「Hi Mafia!」と声を掛けてきません。帰りはBurtonという”Pancake Town”と呼ばれる村に立ち寄りしました。Burtonはメープルシロップが有名らしく、試食やその作り方を教えていただきました。

そして、この研修でとても驚いたことがあります。研修中、私は疲れてしまい、ふと「早く家に帰ってゆっくりしたい」という言葉が頭をよぎりました。ですがその時、頭に思い浮かんだ“家”は、日本ではなくフィンドレーで暮らすシェアハウスでした。このことを同じ文芸大からの留学生である友人に話すと彼女からも共感の言葉が返ってきました。まだたった2ヶ月のフィンドレー大学での生活ですが、自分の家はここであると21年間過ごした日本の家を上書きしてしまうほど私はフィンドレーで私にとってとても居心地が良く素敵な場所であるということを実感しました。

始めは、もちろん知らない人達と過ごす怒涛の3日間だったのでとても疲れましたが、一緒に過ごすことで次第に仲良くなることができ、本当に価値のある時間でした。多くの経験をする事ができたので、参加することができてよかったです。



写真ではうまく写りませんが、綺麗な
星空を楽しむことができます。自然を
楽しみながら英語力を養うことができ
ました。

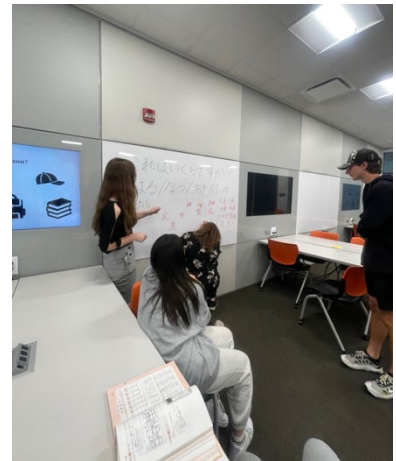
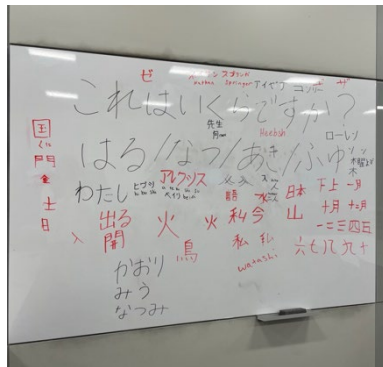


外にはメープルの木が植えら
れ、メープルの良い匂いが漂っ
ています。メープルの試食だけ
でなく、カラメリゼ体験もしま
した。

5. 日本語 meeting

フィンドレー大学には日本語の授業が存在し、日本語を勉強している学生がいます。今月は日本語を勉強している学生が自主的に集まって開いている勉強会に参加しました。彼らが日本語を学んでいる姿からは学ぶことが本当に沢山あります。Japanese native speakerである私にとって何気なく使っている言葉も彼らにとっては、難しく、疑問が沢山生まれます。アメリカでは、フランス語、ドイツ語、スペイン語を第二言語として学ぶことが主流だそうです。ですが、日本に留学をしていた友人や、ドイツ語を勉強しドイツへ行った友人に話を聞いた際、その国の言語を勉強し、その国を訪れたが、街には英語で書かれた標識が溢れ、多くの人が英語を使って自分と話す際に英語を使ってくれたため、ほとんどその国の言語を使うことはなかったと言っていました。私が英語を学ぶ理由は、英語が好きであるとも

に、英語は世界中の人々とコミュニケーションを取ることのできる最強のツールだと思うからです。それに加え、日本語は日本以外の国では使われていないですし、英語を学習することは日本人にとって不可欠です。しかし、共通語である英語を第一言語としている彼らにとって、英語を使えば多くの国を訪れることができ、他言語を学ぶ必要性は私たちと比べあまりないと思います。なので、小さな島国である日本でしか使われていない日本語を懸命に学習する彼らの姿を見て、日本はそんな彼らを惹きつけてしまうほど魅力的な国であるのだと誇らしく思いました。世界中のより多くの方が日本に関心を持って、日本について学んでくれると良いと思います。



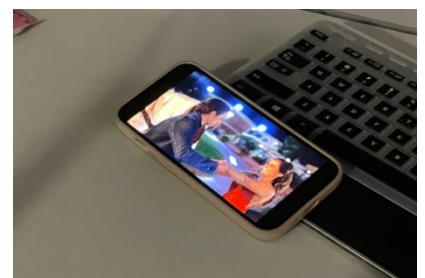
この日は「こそあど言葉」とひらがなの学習、買い物の仕方、数字の読み方を勉強しました。彼らの日本語へのモチベーションはとても高く、私も英語を頑張らないと思いました。

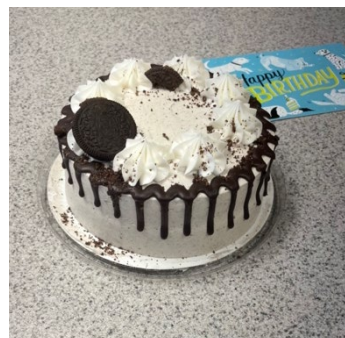


6, 遊び

今月は休日にアメリカンフットボール部に所属している友人の試合を観戦、Easton Mallでのショッピング、そして友人の家でうどんを振舞ったり、現地の方にお薦めしてもらったタイ料理を食べに行ったりしました。私は人生で初めてアメリカンフットボールの試合を観戦しました。ルールすら知らなかったなので、隣に座る友人の Google を使用しながらの説明を聞きながら楽しみました。コロンバスにある Easton Mall はとても大きく、ショッピング

を楽しみました。友人の運転で向かったのですが、アメリカは本当に道が広く、何度みても驚かされます。フィンドレーは白人の割合が最も多く、留学生以外のアジア人はほとんどいません。ですが、コロンバスはフィンドレーに比べより都会であることなどの理由からフィンドレーと比べ、多くのアジア人がおり、とても新鮮でした。うどんは、アジアンマーケットで購入した材料を使って作りました。アメリカ人の友人も韓国人の友人も喜んでくれたので嬉しかったです。そして、「Jack & Jin's」という学校の近くにあるタイ料理屋さんにも行きました。ここに来て、色々な国の料理を食べています。アメリカと聞くと、ハンバーガーやポテト、ピザなどを思い浮かべるかと思いますが、もちろんそれに加え、多国籍な友人ができたことやいろんな国のレストランがあるため、食に関しても多くの体験ができます。





今月も沢山遊んで、沢山食べました:) 今月は2人誕生日の友人がいたのでみんなでお祝い、もちろんケーキも2つ食べました! ネイティブの友人とダウンタウンのカフェに行ったり、アメリカのゲームを教えてもらい、みんなで楽しみました。



7.まとめ

今月は本当に一瞬でした。8月はアメリカに到着し、いろんな新しい体験をして長かったように感じますが、9月はアメリカでの留学生活にも慣れ、友人もでき、気が付けば10月です。もう留学生活の4分の1が終わってしまったかと思うと既に帰りたくない気持ちでいっぱいです。残りの留学生活も無駄にしないよう、楽しみつつ学習を頑張りたいです。